

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
個性と保育 Individuality, Child Care and Education		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(保育士選択科目)	こどもフィールド2年生のみ受講可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理等				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
松崎勇人	本館2階	月・水・金の9時から5時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
個性とは、個性を生かす保育とは、個性を伸ばす保育とは何かについて、受講者と共に考え、今後の保育実践に役立てるヒントを得る。				
授業の目標				
①個性とは何かについて述べられる。 ②個性を生かす保育とは何か述べられる。 ③個性を伸ばす保育とは何か述べられる。 ④個性を伸ばす保育の教育方法上の特徴と、教育計画上の特徴、評価の特徴を述べられる。 ⑤個性保育の前提となる価値観について述べられる。				
授業の方法				
資料配布による討論、参考文献の購読とミニッツペーパーによる要点の提出、レポートを課し、その講評等を行う。				
学習の成果 (学習成果)				
①個性を尊重する保育の影響を予測できる。 ②個性を伸ばす保育を構想することができる。 ③個性を伸ばす保育の評価を構想することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、個性の意味について討論し発表する。			
第2回目	個性の発達と社会的価値観			
第3回目	導く保育における個性の発達			
第4回目	その方法、計画と評価上の特徴			
第5回目	見守る保育における個性の発達			
第6回目	その方法、計画と評価上の特徴			

第7回目	参加包育における個性の発達
第8回目	その方法、計画と評価上の特徴
第9回目	社会構成主義と保育者による介入
第10回目	レッジョ・エミリア・アプローチの特徴
第11回目	スウェーデンの保育に見る個性の尊重
第12回目	スウェーデンの保育に見る個性と責任感の発達
第13回目	フィンランドの教育における個性の発達
第14回目	研究成果（レポート）発表と講評
第15回目	まとめ（保育実践へ向けて）
事前・事後学習	テキストや資料を講義の前に読んでくること

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	テキストや資料を読んでから授業に臨んでいる。討論に積極的に参加している。（詳細はガイダンス時に説明する。）
レポート	40%	構成が整っている、要点が明確に述べられている、条件が満たされている（詳細は課題提示時に説明する）
調査報告書		
小テスト		
試験	40%	基本的事項について述べられるか筆記試験で確認する。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『幼児教育方法論入門（第2版）』石垣恵美子・玉置哲淳編著、建帛社。参考図書は随時指示する。

履修上の留意点・ルール

主体的に、対話的に、探究心を持って参加すること。常識的受講マナーは守ること。